

2021年度 青雲会第4回幹事会 議事要旨

青雲会事務局

日 時 2021年12月2日(木) 18時30分～20時00分

場 所 大阪大学豊中キャンパス 法学部大会議室

出席者 18名 + オンライン参加 3名 合計21名 [懇親会はなし]

【協議事項】

(1) 2022年度総会について

西尾会長より、資料①に基づき来年度の青雲会総会について提案があった。

開催日は例年通り7月の第3土曜日ということで、7月16日(土)とする。

会場は、本年度と同じく大阪新阪急ホテルとする。(仮予約済み)

タイムスケジュールおよび参加費は例年通りとするが、詳細は新型コロナウイルスの感染状況を見ながら進めていくこととする。費用については次回幹事会で概算を提示する。

講演会講師についてはこれから検討していくこととする。

総会の実施方法・内容について、原案どおり承認がなされた。

(2) 2022年度会報について

西尾事務局長より、資料②③に基づき来年度の会報の発行について提案があった。

来年度も例年通り4月末に12ページ立ての会報を発行する。

事務局より「活躍する卒業生」について候補者があれば推薦いただきたいとの依頼があった。

来年度の会報の発行について、原案どおり承認がなされた。

(3) 交流促進PTからの提案について

山西副会長より、交流促進PTからの下記2つの提案があり、原案どおり承認がなされた。

① 卒業生と在学生との座談会

在学生(青雲会準会員)のキャリア形成、進路選択及び就職活動支援の一環として卒業生との座談会を開催する。

費用負担、学生への告知は、学生支援室と連携して進める。

② ゴルフ同好会

数年ぶりに活動を再開し、2022年4月2日に兵庫県三木市のセンチュリー三木ゴルフクラブにてコンペを開催する。

参加申込は事務局まで。

出席者より、①について、取り組みとしては非常によいことだが、学生を集めるのが難しいと思われるので、学生の興味があることを提供するひと工夫が求められるとの意見があった。

(4) 青雲会規約 危機管理条項について

地神副会長より、資料⑤に基づき、青雲会規約の危機管理条項の追加について提案がなされた。

現在の規約では、年1回定時総会を開催することとなっているが、天災・疫病蔓延などの緊急事態時を想定していないため、条項を追加してはどうかという提案である。

参加者による活発な意見交換がなされ、条項が必要であるとの認識は一致したものの、内容や条文の文言については、引き続き幹事会で検討していくこととなった。

(5) 若手交流会について

高橋副会長より、今年度の若手交流会について説明がなされた。

本年度の若手交流会は、試験的開催という趣旨のもと、前述の卒業生と在学生との座談会を以って代えることとする。

【報告事項】 青雲懸賞論文について

(1) 2021年度青雲会総会について

西尾事務局長より、さる10月3日(日)に開催された2021年度青雲会総会について報告があった。参加者は44名(資料⑥参照)、懇親会はナシで参加費が無料であったため、費用は、会場費および講師謝礼のみとなった。

報告の詳細はホームページに掲載済み。(資料⑦⑧参照)

(2) 2021年度青雲懸賞論文について(11月1日告知)

西尾事務局長より、資料⑨～⑪に基づき本年度の青雲懸賞論文の実施状況について報告があった。

11月1日告知済み、締切は2022年1月13日。

(3) 青雲キャリアチャレンジ賞について

西尾事務局長より、資料⑫⑬に基づき本年度の青雲キャリアチャレンジ賞の実施状況について報告があった。

学生には9月に告知済み、応募締め切りは1月27日。

(4) 第72回青雲塾について

山西副会長より、資料⑭に基づき第73回青雲塾開催案内があった。

講師は大阪大学文学部教授 斎藤理生先生、テーマは「オダサクの西鶴—織田作之助の」
翻案の方法」

☆ 次回幹事会 2022年2月10日(木)

以上